



6月園だより

令和5年6月1日

目黒区立目黒本町保育園園長

子どもたちが植えた各クラスの野菜の苗が雨や太陽を浴びて元気に育っています。葉に付く青虫が子どもたちにとっては偶然の産物となり、毎日目を凝らして探しています。身近な生き物に触れ、発見や驚き、わくわくした気持ちを子どもたちと一緒に楽しんでいきたいと思ひます。

ある日、1歳児クラスを覗きにいくと、一人の子が絵本をもって膝に座りにきました。「これよむの」と一緒にページをめくると、「いた」と金魚を指さします。“きんぎょがにげた”という絵本は子どもたちのお気に入りなので繰り返し読んでいるうちにどこに金魚が隠れているか覚えています。「いたね」と返してページをめくると「いた」と素早く次の金魚を指さし満足そうです。そのやりとりを聞きつけて数名の子が集まり「いた」と声を合わせることが楽しくなり笑い合っていました。4月の頃は担任保育士の後ろに隠れて緊張した表情の子たちが自分から話しかけてくれたり、遊びに誘ってくれたりする姿に保育士との安心した関係が周りの出来事や、友達、他の大人への関わりを広げていることが伝わります。子どもたちが様々なことに興味、関心を持ち、自分の世界を広げていけるように一人ひとりが安心し、ありのままの自分を表現できる関わりを大切にしていきたいと思ひます。

先月より各クラスの懇談会が行われています。年齢ごとに悩みは様々ありますが、保護者の方のお子さんへの温かい想いに触れ嬉しい気持ちになりました。保護者の方々と一緒に子どもたちの「やってみたい」という意欲に寄り添っていききたいと思ひます。



行事予定

歯科検診	全園児
耳鼻科検診	3, 4, 5歳児
環境教室	3, 4, 5歳児
内科検診	全園児
眼科検診	全園児
中旬	身体計測・避難訓練



「ダンゴムシの世界」(3歳児クラス)

暖かくなり、園庭の花壇でたくさんダンゴムシが見つけれられるようになりました。園庭で遊んでいるうちにダンゴムシがいるスポットを覚え「ここにいるんじゃない」と葉っぱをかき分け夢中で探しています。「あ、いた」と一人の子が言うと周りにいた子も「みせて」と肩を寄せ合うように集まり、指でつまみ上げると飼育ケースに入れて大切に持っていました。ダンゴムシを部屋に持ち帰り観察していると、一人の子が「ダンゴムシの家をつくる」と言って積み木を並べ始めました。積み木で囲いを作りそこにダンゴムシをそっと入れています。「あら、素敵なお家ができだね」と声を掛け保育士も一緒に見ているとダンゴムシが積み木の隙間から外へ出ていきそうです。すると、「あ、出ちゃう出ちゃう」と慌てて積み木の塀を増やし、何とかダンゴムシが出ないように塀で囲むとホッとした表情になりました。今度は「ダンゴムシどこで寝るかな」と言い、保育士も「そうだね、どこで寝かせてあげようか」と返すと「ここにベット作る」と積み木を並べていました。まるで、ダンゴムシの世界が子どもたちの中に広がっているようでした。

これからも子どもたちの発想が広がっていくよう子どもたちのイメージに寄り添いながら保育士も一緒に遊んでいきたいと思ひます。

園庭マップ ～子どもたちにもたちらに人気の遊び場紹介～

【1歳児クラス】

洗面器に水や砂を入れて泥んこ遊びをしています。「みてー」と手についた泥を嬉しそうに保育士に見せてくれます。



【2歳児クラス】

「先生、つけて」とロープを持ってきます。鉄棒につけると心地よさそうにブランコをこいで遊んでいます。



【3歳児クラス】

保育士と一緒に夢中でダンゴムシを探しています。「いたいた！」「どこどこ」と子どもたちの嬉しそうな会話が聞こえてきます。



【0歳児クラス】

たらいに砂や水を入れるとそつと手を入れ、はつとした表情で保育士を見ます。「冷たいね」など声をかけるとにやつと笑って繰り返しています。



【4歳児クラス】

地面にバケツに汲んできた水を流し「気持ちいい」と泥の感触を足で楽しんでいきます。



【5歳児クラス】

ジャンブルジムをドロケイの基地にしたり、アスレチックを作ったりと子どもたちでアイデアを出し合い工夫して遊んでいます。



築山登り

【栽培】

プールサイドのプランターには幼児クラスの子どもたちが季節の野菜を育てています。

